※令和４年度以降入学生用

学校番号	1004

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	総合英文法１	2	2	zoom 入門ノート 3rd edition

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

今までに学んだ基礎的な文法事項を復習し、実践的な問題演習を行います。
基本的な問題から広く取り組み、文法の理解力を深めます。
この授業を通じて、これまで曖昧になっていた文法についての知識や理解を、確かなものへと変えていけるようにしましょう。授業では、問題演習に真摯に取り組む努力をしてください。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・ゆっくりはっきりと発話される、基本的な語句や表現からなる３文程度の英文の内容を的確に聞き取ることができる。 ・趣味やクラブ活動など身近なトピックについての短い話をゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。	・待ち合わせの時間や場所といった日常的な内容のメール文など具体的な事柄について書かれたものを読み、理解することができる。 ・簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や身近なトピックに関する短い文章を挿絵や写真を参考にしながら理解することができる。	・基本的な語や表現を使って、好き嫌いやできることできないことなど日常的な事柄についてやり取りをすることができる。 ・相手の話すことがわからない場合に、必要に応じて、聞き返すことができる。	・前もって準備した上で、簡単な語句や文を用いて自分のことや他人のことを紹介できる。	・簡単な語や基礎的な表現を用いて、バースデーカードなど、メッセージカードを書くことができる。 ・趣味や好き嫌いについて簡単な語や基礎的な表現を用いて、箇条書きで複数の文を書くことができる。

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・基本的な文法事項や表現を理解することができる。 ・基本的な語彙や文法で書かれた英文の内容を読み取ることができる。	・学習した基本的な文法事項を、応用問題に活用することができる。 ・学習した文法事項を使って、自分の意見を他者とやり取りしたり、書いたりすることができる。	・学習した文法事項を使って、自分の意見や考えを積極的に表現することができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	be 動詞（現在・過去） 一般動詞（現在・過去） 命令文	聞くこと	a: be 動詞と一般動詞の違いやそれぞれの働きを理解している。 b: 既習の文法事項の使われた英文を聞き、教師のサポートを受けながら、発話された内容を理解することができる。 c: 授業内の活動に参加し、問題に取り組んだり、話された英文を理解したりしようとしている。	授業内活動への取り組み 学習状況の観察
		読むこと	a: be 動詞と一般動詞の違いやそれぞれの働きを理解している。 b: 既習の文法事項の使われた英文を読み、教師のサポートを受けながら、英文の内容を理解することができる。 c: 既習の文法事項が使われた英文を読み、問題に取り組んだり、内容を理解したりしようとしている。	定期考査
		話すこと（やり取り）	a: be 動詞と一般動詞の違いやそれぞれの働きを理解している。現在形と過去形を使い分けることができる。 b: be 動詞や一般動詞を使って、与えられたトピックについてパートナーと話すことができる。 c: 既習の文法事項を使って、積極的にパートナーと英語を使って話そうとしている。	授業内活動への取り組み
		書くこと	a: be 動詞と一般動詞の違いやそれぞれの働きを理解している。現在形と過去形を使い分けることができる。 b: be 動詞や一般動詞を使って、与えられたトピックについて書くことができる。 c: 既習の文法事項を使って、問題に取り組んだり、英文を書いたりしようとしている。	ライティング課題
	中間考査			
	疑問詞 進行形 未来表現 助動詞	聞くこと	a: 進行形や未来表現、疑問詞、助動詞それぞれの働きを理解している。 b: 既習の文法事項の使われた英文を聞き、教師のサポートを受けながら、発話された内容を理解することができる。 c: 授業内の活動に参加し、問題に取り組んだり、話された英文を理解したりしようとしている。	授業内活動への取り組み 学習状況の観察
		読むこと	a: 進行形や未来表現、疑問詞、助動詞それぞれの働きを理解している。 b: 既習の文法事項の使われた英文を読み、教師のサポートを受けながら、英文の内容を理解することができる。 c: 既習の文法事項が使われた英文を読み、問題に取り組んだり、内容を理解したりしようとしている。	定期考査
		話すこと（発表）	a: 進行形や未来表現、疑問詞、助動詞それぞれの働きを理解している。 b: 未来表現や疑問詞を使って、与えられたトピックについて話したり、尋ねたりすることができる。 c: 既習の文法事項を使って、積極的に英語を使って話そうとしている。	授業内活動への取り組み スピーキングテスト
		書くこと	a: 進行形や未来表現、疑問詞、助動詞それぞれの働きを理解している。 b: 進行形や未来表現、助動詞を使って、与えられたトピックについて書くことができる。 c: 既習の文法事項を使って、問題に取り組んだり、英文を書いたりしようとしている。	ライティング課題
	期末考査			
2	受け身 現在完了	聞くこと	a: 受け身や現在完了のそれぞれの働きを理解している。 b: 既習の文法事項の使われた英文を聞き、教師のサポートを受けながら、発話された内容を理解することができる。 c: 授業内の活動に参加し、話された英文を理解しようとしている。	授業内活動への取り組み 学習状況の観察
		読むこと	a: 受け身や現在完了のそれぞれの働きを理解している。 b: 既習の文法事項の使われた英文を読み、教師のサポートを受けながら、英文の内容を理解することができる。 c: 既習の文法事項が使われた英文を読み、内容を理解しようとしている。	定期考査
		話すこと（やり取り）	a: 受け身や現在完了のそれぞれの働きを理解している。 b: 受け身や現在完了を使って、与えられたトピックについてパートナーと話すことができる。	授業内活動への取り組み

※令和４年度以降入学生用

			c: 既習の文法事項を使って、積極的にパートナーと英語を使って話そうとしている。	
		書くこと	a: 受け身や現在完了のそれぞれの働きを理解している。 b: 受け身や現在完了を使って、与えられたトピックについて書くことができる。 c: 既習の文法事項を使って、問題に取り組んだり、英文を書いたりしようとしている。	ライティング課題
	中間考査			
	不定詞 動名詞 分詞	聞くこと	a: 不定詞や動名詞、分詞の違いやそれぞれの働きを理解している。 b: 既習の文法事項の使われた英文を聞き、教師のサポートを受けながら、発話された内容を理解することができる。 c: 授業内の活動に参加し、問題に取り組んだり、話された英文を理解したりしようとしている。	授業内活動への取り組み 学習状況の観察
		読むこと	a: 不定詞や動名詞、分詞の違いやそれぞれの働きを理解している。 b: 既習の文法事項の使われた英文を読み、教師のサポートを受けながら、英文の内容を理解することができる。 c: 既習の文法事項が使われた英文を読み、問題に取り組んだり、内容を理解したりしようとしている。	定期考査
		話すこと（発表）	a: 不定詞や動名詞、分詞の違いやそれぞれの働きを理解している。 b: 不定詞や動名詞、分詞を使って、与えられたトピックについて話すことができる。 c: 既習の文法事項を使って、積極的にパートナーと英語を使って話そうとしている。	授業内活動への取り組み スピーキングテスト
		書くこと	a: 不定詞や動名詞、分詞の違いやそれぞれの働きを理解している。 b: 不定詞や動名詞、分詞を使って、与えられたトピックについて書くことができる。 c: 既習の文法事項を使って、問題に取り組んだり、英文を書いたりしようとしている。	ライティング課題
	期末考査			
3	関係代名詞 比較	聞くこと	a: 関係代名詞や比較のそれぞれの働きを理解している。 b: 既習の文法事項の使われた英文を聞き、教師のサポートを受けながら、発話された内容を理解することができる。 c: 授業内の活動に参加し、問題に取り組んだり、話された英文を理解したりしようとしている。	授業内活動への取り組み 学習状況の観察
		読むこと	a: 関係代名詞や比較のそれぞれの働きを理解している。 b: 既習の文法事項の使われた英文を読み、教師のサポートを受けながら、英文の内容を理解することができる。 c: 既習の文法事項が使われた英文を読み、問題に取り組んだり、内容を理解したりしようとしている。	定期考査
		話すこと（やり取り）	a: 関係代名詞や比較のそれぞれの働きを理解している。 b:関係代名詞や比較を使って、与えられたトピックについてパートナーと話すことができる。 c: 既習の文法事項を使って、積極的にパートナーと英語を使って話そうとしている。	授業内活動への取り組み
		書くこと	a: 関係代名詞や比較のそれぞれの働きを理解している。 b: 関係代名詞や比較を使って、与えられたトピックについて書くことができる。 c: 既習の文法事項を使って、問題に取り組んだり、英文を書いたりしようとしている。	ライティング課題
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度